

患者さんへ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 腎生検で診断の得られた希少6腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

[研究代表者名・所属] 市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕

[研究の背景と目的]

希少6腎疾患[(Castleman病・クロー深瀬症候群・TAFRO症候群 / 原線維性糸球体腎炎・イムノタクトイド糸球体症 / IgA沈着による膜性腎症 / 高リン脂質抗体症候群 / クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 / Light chain proximal tubulopathy)以下、希少6腎疾患とする]は症例数が少ないことから、臨床病理学的特徴の詳細が明らかになっていません。本申請研究は、日本腎病理協会が主導する多施設共同研究で、希少6疾患の症例を会員が持ち寄ってそれぞれの疾患の特徴を病理学的に解析し、臨床所見との関連を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

1. 対象となる患者さん

当院で1991年1月1日～2020年3月31日の間に当科で腎疾患の診断目的で腎生検診断された方。

2. 利用するカルテ情報

- ・患者背景：性別、年齢、既往歴、家族歴、悪性腫瘍合併の有無（部位、進行度）
- ・血液、尿検査の結果：
 - 蛋白尿の指標となるもの(蛋白尿量)
 - 腎機能の指標となるもの(血清クレアチニン)等

3. 利用するその他の試料

- ・腎凍結切片検体ならびに腎生検組織のパラフィンブロック検体
(過去に診断目的に採取され、検査終了後、当院で保存されているものを用います。)
- ・病理プレパラート

- ・電子顕微鏡画像

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日

[個人情報保護について]

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

[研究成果の公表について]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表します。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡窓口]

〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1
市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕
電話：011-726-2211 FAX：011-726-9541